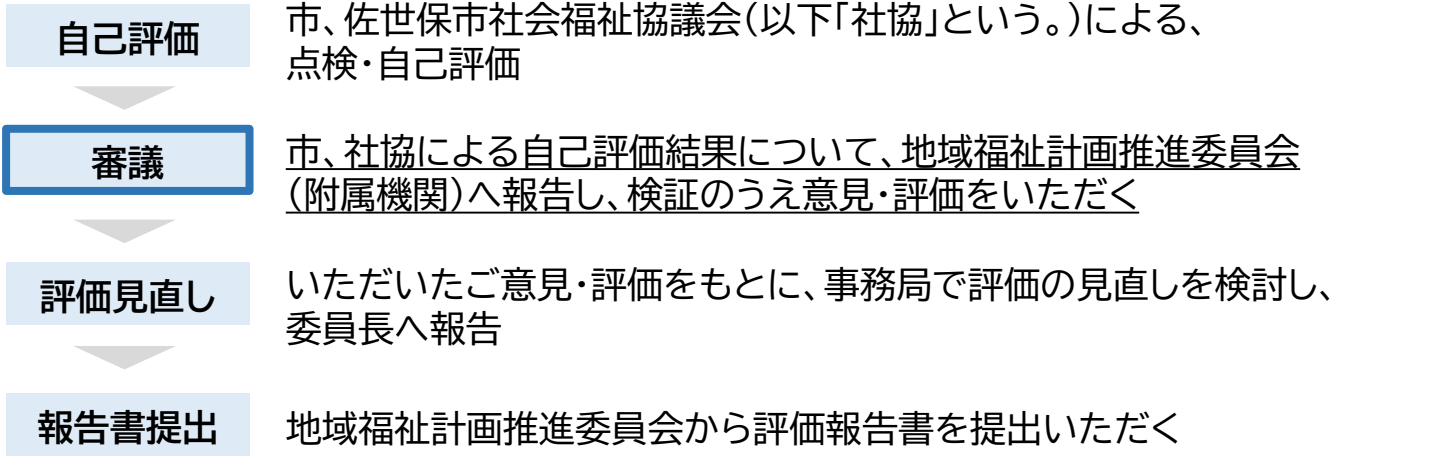


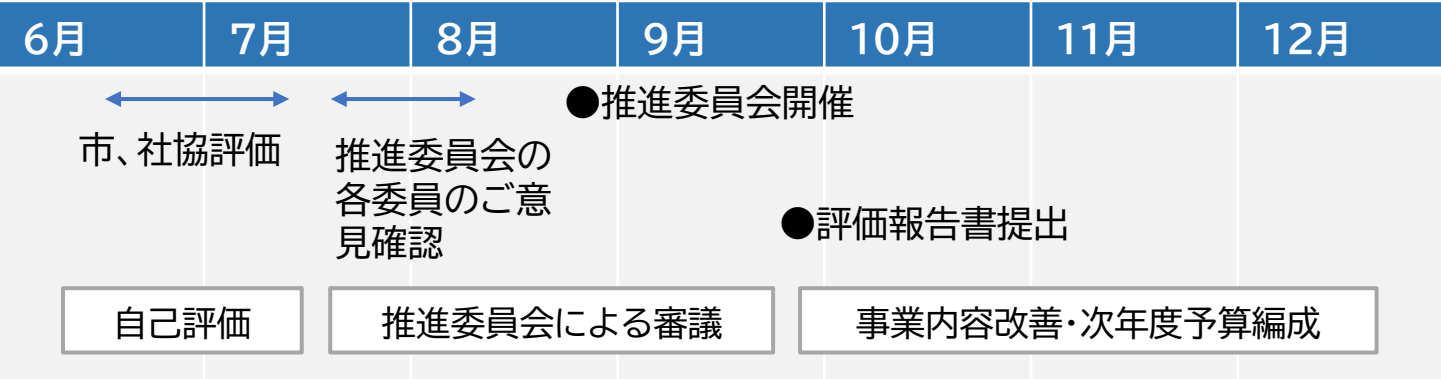
1 評価の目的

計画の基本理念、基本目標の達成を目指して効果的に推進するため、毎年度、その進捗状況、取組の成果などについて点検・評価を行うもの

2 進捗管理・評価体制



3 スケジュール



参考／進捗管理について(計画書P30)

(3) 進捗管理

佐世保市が設置する推進委員会において、計画の進捗状況、取組の効果等について点検・評価を行います。評価については、計画に記載する数値目標等によって、達成状況を把握するほか、各施策に関連する事業の実施状況と照らし合わせながら進捗管理を行います。

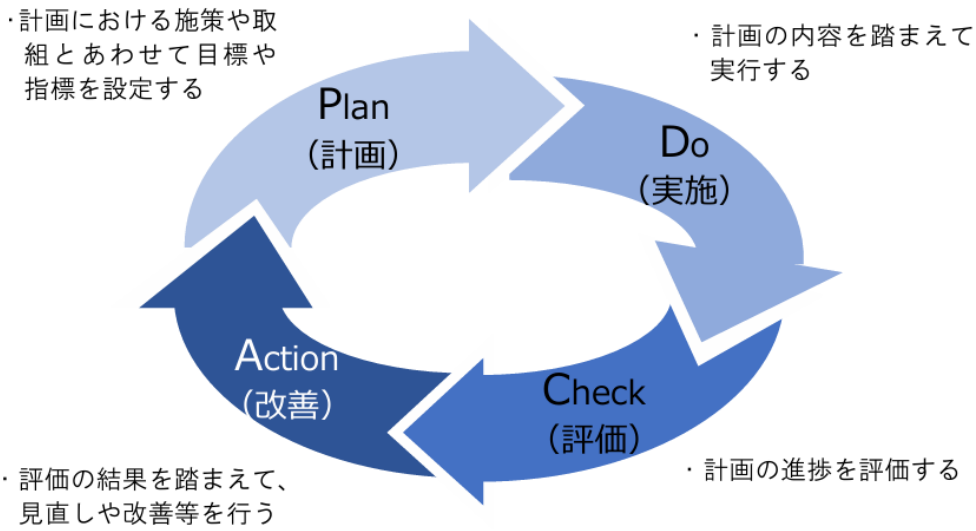
地域福祉計画の数値目標は基本目標ごとに、アンケート調査結果及び事業の実施状況に関する実績値を複数項目設定し、アウトプット指標・アウトカム指標の双方から基本目標の進捗状況を評価します。

地域福祉活動計画については、事業の実施状況に関する実績値及び数値で評価できない項目は事業の年次計画を掲載し、毎年事業の推進が行われているかを把握するアウトプット指標にて事業の進捗状況を評価します。

本計画に掲げる施策を着実に実行すること、また、次年度以降の施策や取組に反映させていくため、PDCA（計画－実施－評価－改善）のサイクルにより、各施策の実施状況の確認を行い、推進委員会での評価を行い、次年度以降の施策や取組に反映させていくため、毎年度実施します。

なお、本計画の性質上、推進委員会の事務局は、佐世保市と社会福祉協議会の共同で担います。

■PDCAサイクルの推進イメージ



4 令和7年度 自己評価まとめ

市及び社協において実施した自己評価の結果については以下のとおりです。

基本目標	事業数	主な取組の数	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
基本目標1 地域で活躍する福祉人材を育む「人づくり」	8	32			21取組 (65%)	11取組 (35%)		3.3
基本目標2 誰もが相互に理解を深め地域の課題を共有し、課題解決に向けて共に取り組む「地域づくり」	13	42		1取組 (2%)	33取組 (79%)	8取組 (19%)		3.2
基本目標3 すべての人を包括的に支えるために、人と人、人と社会資源が「つながる仕組みづくり」	11	38			24取組 (63%)	14取組 (37%)		3.4



自己評価まとめと今後の取組方針

- ほぼすべての取組が3点以上であり、おおむね目標を達成
- 目標達成に至っていない取組、目標を達成しているものの課題があるものについては、次年度に向けた改善方策等の検討を行う

参考／評価基準

点数	数値目標あり	数値目標なし
5	目標達成(90%以上) + 大きな成果を伴う評価すべき点がある	大きな成果を伴う評価すべき点がある
4	目標達成(90%以上) + 評価すべき点がある	評価すべき点がある
3	目標達成(90%以上)だが、改善すべき点がある OR 目標未達成(90%未満)だが、合理的理由や評価すべき点がある	改善が必要な点がある ⁱ ものの、合理的理由により評価すべき点がある
2	目標未達成(90%未満) + 改善すべき点がある	改善すべき点がある ⁱⁱ
1	目標未達成(90%未満) + 重大な改善すべき点がある	重大な改善すべき点がある

(注) i 現状で不足している、または問題があると感じられる場合
ii 改善が必要な点よりも行動の強い示唆や義務感を示す場合

施策(1) 共に生きる地域を支える人づくりの推進

事業② 地域福祉への意識啓発

計画書41ページ

主な取組み	担当課	指標	区分	R6	R7	R8	具体的な取組／実績値の詳細／工夫した点 など	課題・今後の取組方針等
①地域福祉講演会の実施	(市)地域福祉推進室	ア市の媒体を活用した、地域福祉講演会の周知	目標値	実施	実施	実施	【広報媒体】 ・広報させぼ1月号へ掲載 ・市ホームページへ掲載 ・本庁連絡通路において講演会のチラシや福祉に関連するチラシを掲示(約10日間) ・庁内アナウンスを実施(1週間) ・市のFacebook、Xに投稿(R7から実施)	SNSを活用した情報発信を行い、より多くの方に情報が届くよう努める。
			実績値	実施	実施	—		
			達成度	—	—	—		

自己評価点	委員ご提案の評価点	ご意見	委員ご意見を受けた後の評価点	担当課回答
3	—	SNS別の使用率は、Facebook:26.8%、Instagram:52.6%、YouTube:80.8%、TikTok:33.2%となっています。今後の媒体を検討してもいいのではないかと思います。	—	佐世保市公式のLINEやInstagram等の活用についても検討したい。また、社協のホームページで録画分のYouTube視聴をご案内していることから、その周知についても進めていく。

施策(4) 地域住民の交流活動の活性化

事業① 気軽に地域で交流できる機会の創出

計画書46ページ

主な取組み	担当課	指標	区分	R6	R7	R8	具体的な取組／実績値の詳細／工夫した点 など	課題・今後の取組方針等
④リユース品等を活用できる場の設置	(社協)地域福祉課	リユース品等の利活用場の設置	目標値	段階的に実施	運営	運営	・項目②記載の「つながるフェス」において、子育て中の世帯を対象に、ランドセル等を必要とする方々の手に届けるためにブースを設置。リユース品の募集に関しては、本会HPやSNSでの周知のほか、開催する東部地区圏域の中学校等へチラシを配布した。開催当日までにランドセルは31個の提供があった。 ・当日は、親子連れや孫にプレゼントするためにと、多くの方が集められたリユース品を手に取り、ランドセルやベビーカーを持ち帰る方の姿もあった。	・開催時期が3月だったということもあり、集まったランドセルに対して持ち帰る方の数が少なかった。 ・開催時期や開催場所の検討を行うとともに、募集するリユース品に、キッズフォーマルを含める等検討する。
			実績値	実施	運営	—		
			達成度	—	—	—		

自己評価点	委員ご提案の評価点	ご意見	委員ご意見を受けた後の評価点	担当課回答
3	4	- ランドセルの譲渡開催時期は、年末や1月頃が良いのではないかと思います。3月開催では確実に貰えるかわからない為、親も不安になるかと思います。 - リユース品が集まってきていることを踏まえると、認知され、稼働しはじめているとも捉えることができるため、高く評価できる。さらに活発になってほしい事業である。	3	- 今回初めての企画で調整に時間を要し、3月開催となった。ご意見のとおり、次回は少しでも多くの必要とする方に届くよう早い時期に計画・実施する。 - リユース品の提供実績は評価できるものの、利活用の促進に課題があるため、評価は3とする。

基本目標 2 誰もが相互に理解を深め地域の課題を共有し、課題解決に向けて共に取り組む「地域づくり」

施策

(1) 住民相互による地域活動の推進

事業

① ふれあいいきいきサロンの推進

計画書
48ページ

主な取組み	担当課	指標	区分	R6	R7	R8	具体的な取組／実績値の詳細／工夫した点 など	課題・今後の取組方針等
①遊具の貸出、活動に対する財政支援等の実施	(社協)地域福祉課	サロンの自主運営数	目標値	95%	100%	100%	・福推協等会長連絡会、地区総会、地区民児協定例会、町内役員会等でサロン活動の意義や必要性について、事例をもとに説明し開設を働きかけた。 ・サロン開設に向けたプログラムの内容・年間計画の作成支援や遊具の貸出、地域ふれあい推進事業補助金による活動費の支援を行った。 ・サロン数305カ所(新規開設14カ所) ・活動費の支援(22地区福推協に対し活動費補助)	・課題としてはサロンリーダーや参加者が高齢化していること、新たな若い世代の加入が見込めないことがあげられる。 ・今後は、地域の居場所となるサロン活動を推進するとともに、自主運営できるよう、活動費の補助や遊具の貸出などの支援を行っていく。
			実績値	99%	99%	—		
			達成度	104%	99%	—		

自己評価点

3

委員ご提案の評価点

4

ご意見

- 若い世代の参入は、非常に大きな問題です。もっと対策を強化しないといけないと考えます。
- サロン数が新設14カ所であった点は評価できるが、実績値が何で計算されているかわからないため、評価がしづらい。課題はありながらも、規模拡大をしているのであれば、高く評価しても良い。

委員ご意見を受けた後の評価点

3

担当課回答

- 新たな担い手の確保に向け、認知症サポーター等の地域人材の育成・活用を行政や地域包括支援センター等と連携して進めるとともに、学校・学生等とのつながりづくりを進める。
- 実績値は、新規開設も含め全てのサロンのうち、社協等の参加がなくても地域住民による自主的に運営できているサロンの割合である。自主運営の促進や担い手の確保に課題があるため、評価は3とする。

施策

(4) 暮らしの安全・安心をまもる体制づくり

事業

⑤ 日常的な地域の安全・安心の保全

計画書
59ページ

主な取組み	担当課	指標	区分	R6	R7	R8	具体的な取組／実績値の詳細／工夫した点 など	課題・今後の取組方針等
①出前講座や出前型の交通安全教室の実施	(市)市民安全安心課	イ 悪質商法等に関する出前講座の実施回数	目標値	25回	25回	25回	出前講座や学校への授業支援を通して、悪質商法や最近の消費者トラブル事例を紹介するなどして消費者被害を防止するための啓発活動を行った。また消費生活に係る出前講座のみならず、消費生活以外に当課で行う他分野の出前講座等においても、消費生活センターの資料配布を行った。 【実績値の詳細】 ・主催した出前講座 5回 138人 ・出前講座(授業支援) 3回 664人 ・出前講座(一般・高齢者) 9回 139人	実績回数が減少したことから、今後の取組として、出前講座を行っていることの周知をはかる必要がある。そのため、ホームページや消費生活センターの広報誌などを活用した周知や、見守り側の関係機関等への出前講座の案内送付などにより、広報に力を入れていく。また、当課が実施する他の出前講座等においても、積極的な資料配布を行っていく。
			実績値	24回	17回	—		
			達成度	—	68.0%	—		

自己評価点

2

【参考】
評価点2 →目標未達成(90%未満)+改善すべき点がある

基本目標 3 すべての人を包括的に支えるために、人と人、人と社会資源が「つながる仕組みづくり」

施策	(1) 情報発信力の強化	事業	② 地域福祉活動の情報提供	計画書 61ページ
----	--------------	----	---------------	--------------

主な取組み	担当課	指標	区分	R6	R7	R8	具体的な取組／実績値の詳細／工夫した点 など	課題・今後の取組方針等
②市民が必要とする情報ニーズの把握	(社協)地域福祉課	応募はがき・メール受付件数	目標値	300件	300件	300件	・広報誌(社協だより・くれよん)の応募はがき・メールを通じて市民の意見や感想を収集し、広報内容の充実に向けた情報ニーズの把握に努めた。 ・寄せられた意見や感想としては、ボランティア活動に関する情報、災害に関する情報提供の充実、食料支援の仕組みに関する情報などがあり、地域福祉に関する多様な関心が確認された。これらの他にもさまざまな意見や感想が寄せられており、市民のニーズの把握を行った。	・寄せられた意見や感想については、事業内容や実施時期等の状況、また意見の、感想の内容について個別性が高く、どのように整理し生かしていくかについては課題がある。 ・今後は、収集した意見や感想について内容ごとの整理を行い、可能な範囲での反映方法や活用の検討を進め、市民が必要とする情報ニーズを踏まえた情報発信の充実を図っていく。
			実績値	298件	299件	—		
			達成度	99%	99%	—		

自己評価点	委員ご提案の評価点	ご意見	委員ご意見を受けた後の評価点	担当課回答
3	—	目標値を適切に99%達成しているため、高く評価できるが、寄せられた意見にどう応えていくかが重要であり、その点も評価すべきであると考える。	—	寄せられた意見や感想を整理し、市民の関心やニーズを把握するとともに、その内容を情報発信や事業内容の充実に反映し、今後の取組みに活用していく。

施策	(2) 福祉サービスの充実	事業	① 高齢者福祉サービスの充実	計画書 62ページ
----	---------------	----	----------------	--------------

主な取組み	担当課	指標	区分	R6	R7	R8	具体的な取組／実績値の詳細／工夫した点 など	課題・今後の取組方針等
③介護保険制度の適正な運営	(市)長寿社会課	・要介護認定の適正化 ・ケアプラン等の点検 ・縦覧点検・医療情報との突合	目標値	100%	100%	100%	①要介護認定の適正化に関しては、申請に対する審査結果を、全ての申請に対し通知している。 ②ケアプラン等の点検については、居宅介護支援事業所等が作成したケアプランの点検をマニュアルに沿って行い、作成内容の不備不足などの指導を行い適切なケアプラン作成に資する。 ③縦覧点検・医療情報との突合については、長崎県国民健康保険団体連合会(以下「国保連」という)においての疑義抽出データを基に点検確認を実施し、不備のある者は事業者確認の上、改善等を求めている。 ※「②ケアプラン等の点検」の一部と「③のうち医療情報との突合」を令和8年度から国保連へ業務委託している。	①要介護認定業務に関して、認定調査、認定審査会などいくつかの業務を経て認定結果に至るが、各業務の中で、審査会はコロナ禍以降オンライン審査会が基本となっている。しかし、関係資料は紙での配布をしており、今後、電子化に向けての取組みを段階的に進めて行く必要がある。 ②、③のケアプラン点検等について、今後も国保連等と協力しながら、効率を上げる取組を検討していく。
			実績値	100%	100%	—		
			達成度	100%	100%	—		

自己評価点	委員ご提案の評価点	ご意見	委員ご意見を受けた後の評価点	担当課回答
3	—	目標値・実績値が何で算出されているのかが不透明である。前年度も電子化に関する課題は出されていたため、その進捗状況が気になる。その点が進んでいるのであれば、評価は4で良いと考える。	—	・審査結果通知11,442件／申請11,442件 ・電子化については、実施に係るセキュリティの課題については解決している。審査委員との調整中。